

キッチンカウンター クリスタル・人工大理石

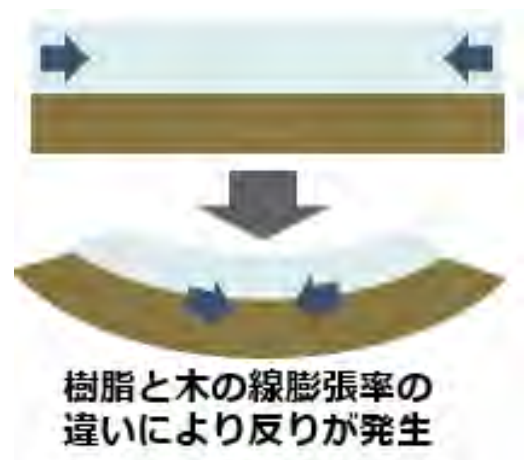
(組立設置時) 反りに対する 対応について

<反りの発生原因>

クリスタルカウンター・人工大理石カウンターは、表面材である樹脂と裏貼材である木材の複合部材で構成されており、樹脂と木材では温度変化による線膨張率（※）が異なります。

製造時の反りが基準内であっても、輸送中や保管時の環境次第では、この収縮率により、反りが発生する場合があります。

※線膨張率：物質の熱による長さの変化の温度に対する割合



TEN クラフトマンニュース 第82号

<現場対応>

組立設置以降は、設置環境に適応することで反りが発生する事例は過去ございません。

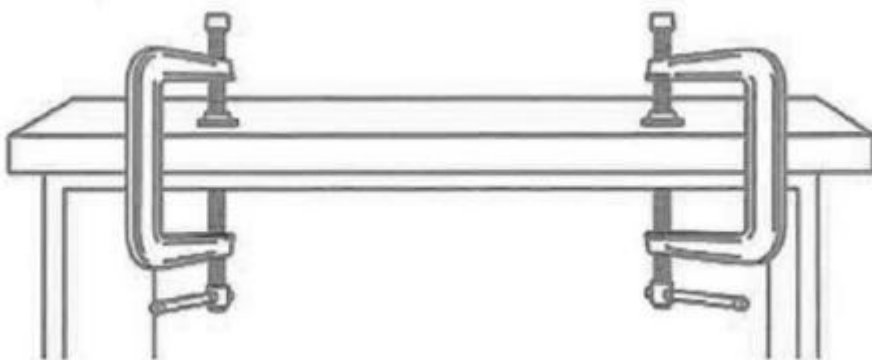
万一反りが発生した場合は、以下①②のご協力をお願いいたします。

①梱包状態で保管、仮置き時は、箱に記載のケアマークの向きで平置きをお願いいたします。



<ケアマーク：天地指示>

②キャビネット固定時、カウンターに反りがある場合は、クランプ等で引きつけたうえで、ねじ固定してください。



<クランプで引きつけ>

発行：TOTO（株） TEN事務局

